シップリサイクル条約は09年5月15日に香港で開かれた国際会議で65の国・地域と11の国際機関によって採択されました。14年の発効を目指してガイドライン作成が進んでおり、条約で禁止・制限しようとする有害物質には水銀も含まれています。条約の発効を控え、水銀式温度計が主流だった4ストロークエンジンの分野でも非水銀式に交換する動きが加速しています。

NESS ネステック株式会社 NESSTECH INC.

見易い！

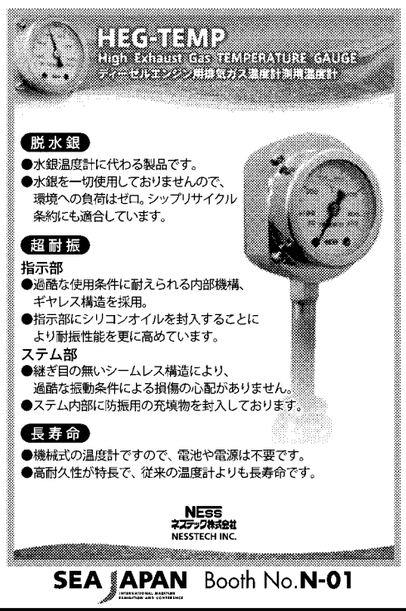
ディーゼルエンジン排ガス用温度計

舶用温度計がここまで進化した!!

超耐振のギヤレス構造
見易いダイヤル(アナログ)表示
非水銀でシップリサイクルに適合

詳しいお問い合わせは下記まで！
本社営業部　TEL 047-453-1182
FAX 047-453-0727
〒275-0024　千葉県習志野市茜浜1-12-1
e-mail e.sales@nesstech.co.jp
国際営業部　TEL 047-453-6555
FAX 047-453-6556
e-mail global.sales@nesstech.co.jp
関西営業部　TEL 06-6304-5301
FAX 06-6304-3523
e-mail w.sales@nesstech.co.jp

NESS FIT FOR USE　ネステック株式会社　www.nesstech.co.jp



脱水銀
●水銀温度計に代わる製品です。
●水銀を一切使用しておりませんので、環境への負荷はゼロ。シップリサイクル条約にも適合しています。

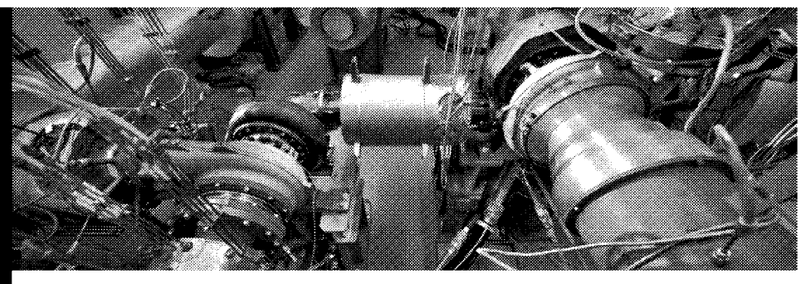
超耐振
指示部
●過酷な使用条件に耐えられる内部機構、ギヤレス構造を採用。
●指示部にシリコンオイルを封入することにより耐振性能を更に高めています。
ステム部
●継ぎ目の無いシームレス構造により、過酷な振動条件による損傷の心配がありません。
●ステム内部に防振用の充填物を封入しております。

長寿命
●機械式の温度計ですので、電池や電源は不要です。
●高耐久性が特長で、従来の温度計よりも長寿命です。

NESS ネステック株式会社 NESSTECH INC.

SEA JAPAN Booth No.N-01

Your Turbocharger Partner
2-Stage Turbocharging



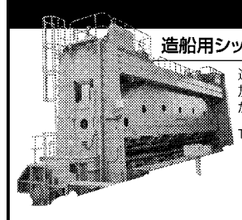
B-16ブースで
お待ちいたしております

エンジンの高出力化・高効率化に加え、エミッション規制の強化が加わりました。
二段過給はより高い給気圧をもたらし、次世代のエンジン開発における主要技術です。
詳しくはお近くのTSU営業所までお問合せください。

ターボ システムズ ユナイテッド 株式会社
〒130-0013 東京都墨田区錦糸1-2-1
アルカセントラルビル16F
電話 03-5611-5974 FAX 03-5611-5977
TSU_tcsales@turbo.co.jp
http://www.turbo.co.jp

Your turbocharger partner　TURBO SYSTEMS UNITED　An ABB and IHI joint venture

曲げ加工のノウハウを知り尽くして、ベンダーのデパート化を目指しております。
カンザキの造船用専用機シリーズ・ベンディングロール

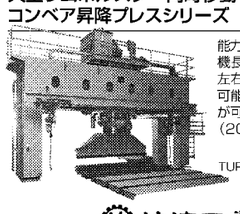


造船用シップベンダーシリーズ
造船の外板を一気にR曲げ加工が可能。省力化、省人化がはかれます。
TSB-30X15500

造船用フレームベンダー／TFBシリーズ
従来までの方法と異なり、支点間距離移動もモーターにて行い、旋回戻しも油圧ジャッキにて、元の垂直位置に戻します。操作はレバーにて簡単に操作可能です。
御社の生産性に高能率、高能力を御約束できるシリーズです。

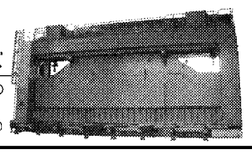
TFB-500

大型ラムポルスター同時移動・同時回転コンベア昇降プレスシリーズ



能力1500㌧、横幅(有効)7m、機長61m上下金型の回転、左右移動、すべて同調稼動が可能で、船体の各種曲げ加工が可能となります。
(2000㌧～500㌧)
TUPR-S-1500

コルゲート曲げ用
長尺大型プレスシリーズ
超大型の長尺(15.5m幅)用の油圧プレス(3000トン)



TUPS-3000

営業品目　●ベンディングロール　●油圧プレス　●アングルベンダー　●造船専用機　●普通型から油圧・全自動方式まで各種設計製作致します。

神埼工業株式会社
〒842-0007　佐賀県神埼市神埼町鶴3318番地
TEL(0952)52-1245㈹　FAX(0952)52-1247
E-mail：kanzaki1245@gamma.ocn.ne.jp
URL：http://www6.ocn.ne.jp/~kanzaki/

SEA JAPAN2012

きょう開幕

20日まで東京ビッグサイト

18日から20日までの3日間、東京・有明の東京ビッグサイトで「SEA JAPAN2012」が開催される。主催はUBMジャパン。同展示会は日本で最大級の海事展。今回で10回目を迎え、過去最高の出展者数になる。10周年の記念セミナーでは海事業界を幅広く捉えた情報を発信し、日本の海事業界の活性化に貢献する。開場は10―17時。入場料は事前登録・招待券持参者が無料、当日会場での登録は3000円。

過去最高の出展者数

高い信頼持つ日本の技術

2003年ごろからの世界中での急激な新造船の受注量増加に伴い、中国と韓国では造船業界に新規参入する企業が増えた。中国、韓国が低価格を売りにして受注を獲得し、長年、日本が強みにしてきた造船業界だが竣工量においてトップの座を譲ることとなった。

しかし、リーマン・ショック後、中国・韓国では発注のキャンセルや造船企業の倒産などが相次ぎ、状況が一変した。日本の造船会社は顧客との信頼関係を築いてきたため、こうした影響はほとんどなかった。舶用メーカーも安定した供給を行うなど、日本では確実なマーケットが構築されている。

そうした環境下にあるものの、中国・韓国の台頭のほかに、円高という苦難がある。それでも、SEA JAPAN2012は過去最高の出展者数を記録する。この厳しい時期にこそ、企業の強みをアピールするのが出展者の積極的な戦略だ。

海事業界に携わる来場者が国内外から訪れる

〝海〟を広く捉える

10周年記念セミナー開催

主催者のクリストファー・イブUBMジャパン社長は同展示会の初開催から携わり、日本の海事業界を間近で見てきた。

「中国・韓国との競争は激化しているが、日本の造船会社と舶用メーカーが戦えるのは〝安いコスト〟ではない。技術・ノウハウが勝っているから続けられる」という。

また、「クローズドで進めてきた日本の造船業界が不況のいま、プラスに働いている。造船会社と舶用メーカー、海運企業がオールジャパンで協力するのはポジティブなこと」という。海外からも来場者が足を運び、日本の強みを改めて見直す展示会になる。

世界が注目する日本の技術は〝環境・省エネ〟。同展示会の海事クラスターテーマゾーンでは二酸化炭素（CO_2）、窒素酸化物（NO_x）規制に対応したクリーンエンジンなどの最先端の技術を紹介。政府が造船業界に期待し、世界をけん引する技術がそろう。

18、19日に行われる国際会議には国内外の海事業界のリーダーが集結。18日10時からは三菱商事社長の小林健氏が「グローバル情勢を読む視点」を基調講演で紹介する。受講料は2日間で2万7000円。

10th Anniversary記念セミナーは3日間に分けて開催する。18日は環境・省エネを取り上げ、海事クラスターテーマゾーンの出展者が講演する。19日は海上技術安全研究所が現場の技術にフォーカスし、市場のトレンドを紹介する。20日はシェールガスなどのエネルギーや水ビジネスなど、海の資源を幅広く捉える。

ニューテクノロジーセミナーでは、19日13時45分からターボシステムズユナイテッドが「ABB.IHI過給機の最新情報」を講演する。各セミナーは聴講無料。当日席に空きがあれば聴講可能。

有力企業の製品・技術

〈順不同〉

エコネット

エコネットが取り扱う製品は防錆潤滑剤「FLUID FILM（フルイドフィルム）」。米国のEUREKA CHEMICALが米国海軍と共同開発し、塩水や酸などに強い防錆剤だ。防錆能力を測る試験「塩水噴霧試験」では1248時間（52日）発錆しなかった。

また、無溶剤であるため、人や環境にやさしい。樹脂や塗装、ゴムなどにも悪影響を与えない。海上輸送、部品保管、生産設備のメンテナンスなどの用途に、幅広い業界で使用されている。（ブース番号S―20）

ネステック

半世紀以上の実績に証明されたネステックの超耐振式ギアレス温度計がさらに進化した。新製品はダイヤル温度計で、最もシビアなアプリケーションといわれる舶用エンジン向けに改良を重ねた。シップリサイクル条約に適合した高耐久、超耐振が特徴だ。

また、従来の水銀棒状温度計に比べ視認性が高く、非水銀で環境に負荷をかけない。MAN B&W、バルチラ、三菱重工業の2サイクルディーゼル機関や、4サイクルのあらゆるエンジンタイプに対応する。（ブース番号N―01）

ターボシステムズユナイテッド

ターボシステムズユナイテッドは〝機関メーカーとの総合的なパートナーシップ〟を掲げる。さまざまな技術の組み合わせで国際的な規制に対応すべく、機関メーカーとの協力体制を強化し、技術開発を促進している。

また、船舶の安全運航を支えるため、多様な運航状況に対する適切なメンテナンスの提供を重視。さらに〝ダウンタイムゼロ〟を目標にしている。展示会では「RH形過給機」のメンテナンス工程とバランシングをデモンストレーションし、新技術を実機で披露する。（ブース番号B―16）

神埼工業

神埼工業はシップベンダーやフレームベンダー、ラム・ポルスター同時移動・同時回転プレスなどを製造する造船用曲げ加工機メーカー。

同社の製品は全国の造船会社の船体や骨組みなどの加工現場で活用されている。加工物の特性は曲げる際の伸縮に影響する。同社はこれまでの経験から得た曲げのノウハウを基に、「高効率、省力・省人化に貢献するお客さまに適した製品」を提案している。

アフターサービスも充実しており、〝ベンダーのデパート〟を目指している。

SEA JAPAN シージャパンに出展します。4.18(水)～20(金)小間番号 S-20

ECONET エコネット株式会社 Recycling Network for Environment & Ecology　フルイドフィルム　検索
www.econet.ne.jp
〒542-0081 大阪市中央区南船場4-4-21 りそな船場ビル10F Tel.06-6244-5510

世界の海事関連企業・団体が一堂に集結する国内最大の国際海事産業展

SEA JAPAN 2012　2012年4月18(水)・19(木)・20(金)日
会場 東京ビッグサイト 東5・6ホール　時間 10:00～17:00

SEA JAPAN 10TH ANNIVERSARY
INTERNATIONAL MARITIME EXHIBITION AND CONFERENCE
主催：UBMジャパン株式会社

セミナー&無料来場登録受付中!!
最新情報・出展社検索も下記URLから!
www.seajapan.ne.jp
または SEA JAPAN 検索

10th Anniversary 記念セミナー　事前登録制／無料　[メディア・スポンサー]月刊ビジネスアイエネコ

4月18日(水) 14:30～15:30
C-4 環境法規制への挑戦、減速航行時のエンジン摩耗低減を目指したシリンダー油潤滑の変化と最適化
Mr. Iain White, Field Marketing Manager, ExxonMobil Marine Lubricants 逐次通訳 英➡日

4月19日(木) 13:00～13:35
C-5 国際海運に対するCO_2排出規制　―国際海事機関での審議―
(独)海上技術安全研究所 流体設計系実海域性能研究センター 上席研究員　辻本 勝 氏

4月19日(木) 13:50～14:20
C-6 スターリングエンジンを用いた排熱回収システムの開発
(独)海上技術安全研究所 動力システム系次世代動力システムセンター センター長　平田 宏一 氏

4月19日(木) 14:35～15:05
C-7 ZEUS(究極の排ガスゼロ船舶)プロジェクトの現状と展望
(独)海上技術安全研究所 流体設計系 実海域性能研究センター長　宇都 正太郎 氏

4月20日(金) 15:00～15:45
C-14 海外水ビジネスの動向と日本の戦略
グローバルウォータ・ジャパン 代表　吉村 和就 氏

過去最大のジャパンパビリオン新設！「テーマゾーン」
海運会社、造船所、舶用メーカー、大学、研究機関、官庁、業界関連団体が参加する日本の海事クラスター!
ドイツ、ノルウェー、デンマーク、フィンランド、韓国、中国などが海外パビリオンを形成する一方、日本からは(社)日本舶用工業会の主催するジャパンパビリオンが過去最大規模で参加。海事立国「日本」の最新テクノロジーを紹介します。また、今回は開催10回目を記念し、新たにジャパンパビリオン内に省エネ・環境をコンセプトとした「テーマゾーン」が誕生します。この「テーマゾーン」には舶用メーカーはもとより、日本を代表する海運会社、造船所、大学、研究機関、官庁、業界関連団体が出展。日本海事産業最大の魅力である海事クラスターとしてそれぞれが連携し「省エネ」、「環境」をテーマとした最新製品やサービスを国内外に向け発表します。

10th Anniversary 特別企画　SEA JAPANは日本の海事産業を応援します!!

4月18日(水)
ミス日本コンテスト受賞者がサポーターとして来場!!
私たちが「SEA JAPAN」の10th Anniversaryをサポートします!
本展では、近年、歴代の「ミス海の日」がサポーターとして参加を続けて参りましたが、今回は、1994年の第1回開催から20年、イベントの開催自体は10回目となる「10th Anniversary」を記念して、2012年1月に開催されたミス日本コンテストにて「ミス海の日」を受賞されました増田麻美さん、「ミスネイチャー」片山萌美さん、「ミス着物」海老澤佳奈さんがSEA JAPAN 2012の応援に駆けつけてくれます。
ミス海の日 増田 麻美さん　ミスネイチャー 片山 萌美さん　ミス着物 海老澤 佳奈さん

4月19日(木) 13:30～14:30　参加無料
あの感動をもう一度。日本中に奇跡と感動を起こした南極観測隊、北村氏が語る!
『チャレンジ』～"第一次南極観測隊(1957)"にことよせて～
九州大学名誉教授、日本南極学術探検隊第1次、第3次越冬隊　北村 泰一 氏
終戦から約10年後、"第一次南極観測"に参加。初めは、世界から、日本の敗戦による国土の壊滅状態と、南極経験がないことから、国際共同南極観測への参加に難色が示されたが、白瀬探検隊の実績と日本の地球物理学の学問水準の高さを披露して、やっとのことで参加が認められた。だが、そこで世界から割り当てられたのは、Inaccessible(インアクセサブル)＝接近不可能といわれている場所であり、ノルウェー、アメリカが到達を断念する中、日本は当時、船齢の尽きかけたボロ船「宗谷」を改造して南極までたどり着き、昭和基地を建て越冬に成功。誰も想像していなかったことを成し遂げたエピソードを語ります。
提供元:船の科学館

4月20日(金) 13:30～14:30　参加無料
『復興支援』石巻市長が語る! ― 復興の現状と今後の展望 ―
石巻市長　亀山 紘 氏
石巻市は、世界三大漁場金華山沖を前浜とした水産業や造船業が盛んな「水産都市」であり、また、臨海部に木材加工や飼肥料等の製造業も数多く立地する「港湾都市」という2つの基幹産業を有する、宮城県下第2の都市でした。今回の大震災で、甚大な被害をもたらされましたが、懸命な復旧作業と国内外からの数多くの支援により、復興に向け一歩ずつ歩み始めております。しかしながら、発災から1年を経過し、護岸や港湾修復等のインフラ整備に加え、震災による休業期間中に失ったシェア回復や風評被害の克服等、多くの課題が山積しています。海事産業関係者が一堂に集う本展で、本市の実情をお伝えし、今後の復興に向けた展望を紹介させていただきます。
特産品の販売ブースを設置!

各種お申込み・お問い合せはこちら　SEA JAPAN事務局　UBMジャパン株式会社　〒101-0044　東京都千代田区鍛冶町1-8-3 神田91ビル　TEL: 03-5296-1020　FAX: 03-5296-1018　E-mail: info@seajapan.ne.jp